

水性しみ止め塗料

## しみストップアロマ

Stain Blocking Primer

建物の壁や天井などの古い汚れた面を塗るとき、綺麗に掃除して塗っても、下の汚れが塗膜表面にしみ出て、折角塗った塗面が汚く見えて困ることがたびたびあります。

建物は古くなるに連れ、雨じみ、釘さびのシミ、自然の変色などで汚くなるほかに、カビで変色したり、石油ストーブのスヤや煙草の煙のヤニ、タンニンなどで着色し、汚れて見えます。その上に白または淡彩の塗料を塗ると、これ等の汚れが塗膜の層を通して表面にしみ出てきて汚くなります。その上にもう一度重ね塗りしても、引き続きシミが表面に出てきます。

塗装で、シミを防ぐのは誠に難しく困った問題でした。

水系の塗料を塗る場合、殆ど必ずといって良いほど、このシミ現象が現れます。合成樹脂調合ペイントでも現れることが少なくありません。

この難問を解決したのが しみストップアロマ です。

### 特長

シミ止め効果が優れています。

建物内外の汚れ、古材から出るシミ、新材のヤニ等がある面に塗料を塗るとき、先ず、しみストップアロマ を下塗りして、次に上塗りするとニジミを完全に押さえることが出来ます。

速乾で、工期短縮ができ、経費が節減できます。

従来の水系しみ止め塗料は、塗装後1日経過しないと、シミやヤニ等ができる場合があります、工期及び経費がかかりました。

この点を解決したのが しみストップアロマ です。目安として、夏期3時間、冬期5時間で上塗り（水系エマルジョン）が可能です。

温度、湿度、空気の流れて乾燥時間が大きく左右されますので悪条件下においては、乾いていることを確認してから上塗りして下さい。無臭、水系無公害塗料です。

アクリルエマルジョン系の水系塗料ですから、引火性の危険、溶剤公害などの問題は全くありません。また臭いも殆どありません。

隠ぺい力が優れています。

シミ止め効果を上げるため樹脂分を多く配合しているにも拘わらず、特殊な顔料を使用しており、下地の色を隠し、真白な仕上りとなり、上塗りの隠ぺい力が向上します。

その他

耐水性に優れており、かび抵抗性も大きい特長があります。

### 塗装

#### 乾燥時間

指 触 乾 燥 時 間	30分	
硬 化 乾 燥 時 間	2時間以内	
上塗可能時間	夏 期	3時間後
	冬 期	5時間後

冬期5 以下で塗装すると乾燥が著しく遅くなり、更に場合によっては塗膜を造らず、亀裂や粉化を起こし、シミ止め効果を失うので、低温時の塗装は避けて下さい。

#### 塗装方法

刷毛塗り及びローラー塗りの場合はそのまま使用して下さい。スプレー塗り及びエアレス塗りの場合は、水で3～5%うすめて使用して下さい。

#### 標準塗付量

120 g / m<sup>2</sup>

1缶(16kg)当りの塗り面積 130m<sup>2</sup>

#### 塗装工程

工程	使用材料名	希釈 (%)	塗付量 (g/m <sup>2</sup> )	塗装間隔 (H)
下塗	しみストップアロマ	3～5	120～130	3～5
上塗	合成樹脂エマルジョンペイント	5～10	130～150	
シミの多い場合は、しみストップアロマを2回塗りして下さい。				

### 使用上の注意事項

充分にかきまぜてから使用して下さい。

他の塗料が混ざるとゲル化したり、固まったりします。

シミが非常に多い場合は2回塗りして下さい。

被塗面のスヤやゴミは剥離して下さい。

11月から2月にかけて、気温の低いときはシミが止りにくいことがあります、その時は天気の良い日にもう一度塗って下さい。

気温5 以下の日、または雨天で湿度の高い日には、午後3時頃から夜にかけての塗装は避けて下さい。硬化乾燥しないうちに温度が下がると、シミ止め効果が阻害されます。炎天下や、冷たい場所(0 以下)に貯蔵すると変質するので屋外貯蔵は避けて下さい。

荷姿 16kg 石油缶

